

2020 日本パッケージングコンテスト受賞のお知らせ

この度、日本包装技術協会が主催で毎年開催されています「2020 日本パッケージングコンテスト」において、王子コンテナ、ムサシ王子コンテナの作品が6点以下の各賞を受賞しました。

日本パッケージングコンテストとは公益社団法人日本包装技術協会が主催し、包装におけるデザインからロジスティクスに至るまで、その年の包装の最高峰と優秀群を決定するものです。

第42回となる今年は、398点もの申し込み総数となりたくさんの注目を集めるコンテストとなりました。

■ ジャパンスター賞／経済産業大臣賞

『自動包装システム「Carton Wrap」を使用した輸送箱の最適化包装』

佐川グローバルロジスティクス(株)様、アルテック(株)様、王子コンテナ、王子ホールディングス

インターネット通販における課題の一つに、注文ごとに異なる商品の数、形状に対し、いかにコンパクトに外装段ボールに収納するかがあり、資材使用量だけでなく輸送効率にも大きな影響を与えている。この課題を解決するため、個々の注文ごとに梱包サイズを最適化し、自動梱包作業が可能なシステムの導入を行ない、輸送効率改善、顧客の配送費低減に貢献した。



■ 包装技術賞／ロジスティクス賞

『海外向け自動車部品 コンソールボックス集合包装の改善』

スズキ(株)様、王子コンテナ

輸出向け自動車用コンソールボックスは、1ケースに24個収納して輸出していたが、1製品ごとに発泡PSとPE保護シートを使用しており、資材コストと梱包作業に課題があった。そこで製品を交互に並べ、表に出ない製品の内側で固定することで、変形・擦れ・接触を防ぎ、さらにプラスチック材料の使用を大幅に削減し、資材点数、包装体積も削減した。



■ 包装技術賞／ロジスティクス賞

『Honda e 電気自動車量産化に向けた大型バッテリー包装資材の開発』

本田技研工業(株)様、ムサシ王子コンテナ

電気自動車のリチウムイオンバッテリーは大型かつ重量物である。この補修部品の交換作業を安全におこなえるよう補助する機能（スクイズ性）を付与した包装資材を開発。従来の資材レイアウトを一新し、紙管を主とした「ブロック組立方式」により、安全性を確保しながら資材単価・重量・資材製造工数を削減した。



■包装部門賞／輸送包装部門賞

『縦型カップ麺(20食)易開封ケース』

日清食品 HD(株)様、王子コンテナー

縦型カップ麺の輸送箱は、1 ケースに20 食入りが主流であるが、高さが低くサイズも大きく開封しにくい。このためカットテープやジッパーカットを使用しているが開封作業には慣れが必要であり、また廃棄時にカット部が残り手間となる。そこで易開封ミシン目と罫線加工により、開封作業時間を約85%、また開封から解体までの作業時間を約40%削減し、廃棄時の切れ端発生も防止した。



■包装部門賞／輸送包装部門賞

『一発開封！タピオカミルクティー』

安曇野食品工房(株)様、王子コンテナー

カップ飲料の段ボール梱包は、流通時の商品保護はもちろん、短時間で開封・品出し・陳列・廃棄作業ができることを求められる。新開封形状では、天面の半円切込み部分に指を入れ、一気に引き上げるだけで天面開封が可能。作業時間はわずか『2秒』。単純な形状のため、直感的に開封手順がわかるのもポイント。開封作業による端材が発生せず、廃棄も容易となった。



■包装部門賞／工業包装部門賞

『うるるユニット用 化粧パネルの包装設計』

ダイキン工業(株)様、王子コンテナー

業務用無給水加湿ユニット「うるるユニット」用パネルという平らな製品のオール段ボール包装を設計開発した。貼り加工の不要な緩衝材と、テレスコープ形(0300)の外装箱とを組み合わせ、緩衝材は組立・製品へのセットも容易なものを4 コーナーに配置した。前後左右上下の6 方向を効果的に緩衝保護でき、1 種類に共通化も実現。製品保管段積数も20 段を実現した。



なお入賞作品は、2021年2月24日(水)～26日(金)の期間、東京ビックサイトにて開催される「東京国際包装展(東京パック)2021」特別ブース『2020 グッドパッケージング展』に展示されます。同展示会には王子グループからも出展を予定しています。

詳しい問合せは 当社営業本部 CS推進部 山本 までご連絡ください。

メールアドレス：yamamoto2135ta@oji-gr.com